

教育委員会では、子供たちが生き生きとした豊かな学校生活を送るためにどのような教育の場が望ましいのか、保護者の方と一緒に考えていきます。

通級相談

特別支援教室・通級指導学級(難聴・言語障害)を希望される方は、学校にご相談ください。

申し込み・問い合わせ先

- 特別支援教室は、
在籍している学校へご相談ください。
- 難聴・言語障害は、
(小)黒門小学校(きこえとことばの教室)
Tel. 3833-4984
(中)柏葉中学校(難聴通級指導学級)
Tel. 3871-9107

医療的ケアが必要な お子様について

区立の小中学校等に入学(園)するにあたり、ご心配のある方は、次の各窓口にご相談ください。

問い合わせ先

- 区立の小中学校及び幼稚園、こども園は、
学務課 特別支援学級担当 Tel. 5246-1416
- 認可保育所は、
児童保育課 保育相談係 Tel. 5246-1234
- こどもクラブ・放課後子供教室は、
児童保育課 放課後対策担当 Tel. 5246-1235

就学相談

小中学校に入学する方で、心身の発達にご心配のある方の相談を入学する前年の5月から受け付けています。

面談や心理検査・医師診察・行動観察・学校見学等を行いながら一人一人の子供の障害の種類や程度、発達の状態に応じた適切な教育の場を話し合っていきます。

相談には予約が必要です。お電話でご予約ください。

申し込み・問い合わせ先

- 学務課 就学相談担当 Tel. 5246-5838

区立幼稚園・保育園・こども園

入園時の相談

区立幼稚園・保育園・こども園に入園を希望される方でお子様の発達等にご心配のある方は、次の窓口にご相談ください。

問い合わせ先

- 区立幼稚園・石浜橋場こども園(短時間保育)は、
入園希望の園にご相談ください。
- 保育園・こども園(長時間保育)は、
児童保育課 保育相談係 Tel. 5246-1234

特別支援学級等所在地一覧

■特別支援学級(知的障害)

蔵前小学校(ひまわり学級)	蔵前4-19-11	Tel. 3851-0554
松葉小学校(ひまわり学級)	松が谷1-13-16	Tel. 3841-6219
金亀小学校(かたばみ学級)	千束1-9-9	Tel. 3871-9895
東泉小学校 ※令和6年4月開設予定	三ノ輪1-23-9	Tel. 3876-2747
柏葉中学校(5組)	下谷3-1-29	Tel. 3873-0063
浅草中学校(A組)	蔵前1-3-4	Tel. 6699-1138

■通級指導学級(難聴・言語障害)

黒門小学校(きこえとことばの教室)	上野1-16-20	Tel. 3833-4984
柏葉中学校(難聴通級指導学級)	下谷3-1-29	Tel. 3871-9107

■特別支援教室

全校に設置しています。各学校にお問い合わせください。

■特別支援教室のグループ

- ◎拠点校(小学校)
- いたどり教室 ◎大正小
上野小・金亀小・千束小・金亀小
- すずかけ教室 ◎平成小
台東育英小・蔵前小・松葉小・田原小
- あおば教室 ◎石浜小
東泉小・浅草小・東浅草小・富士小
- さくら教室 ◎谷中小
根岸小・忍岡小・黒門小
- (中学校) ◎御徒町台東中
柏葉中、上野中、忍岡中、浅草中、
桜橋中、駒形中

台東区の特別支援教育

のびゆく 子供



特別支援教育とは

特別支援教育は、障害のある子供を含め、特別な配慮を必要とする子供一人一人の特性や程度及び発達段階に応じて、きめ細やかな教育・支援を行うことにより、もっている力を最大限に伸ばし、積極的に自立し社会参加していけることを目指しています。

このリーフレットでは、主に台東区立小中学校における特別支援教育の場と相談の場を紹介しています。

特別支援教育の体制

子供の発達や個性は多様です。どの子も豊かな学びのある学校生活を送れるようになることが大切です。子供一人一人の能力や可能性を伸ばしながら成長できるよう、相談の場や学びの場があります。

台東区特別支援教育推進協議会

東京都台東区東上野4-5-6

事務局 台東区教育委員会 学務課 Tel.5246-1416

お子様の様子で 気になることはありませんか？

同年齢に比べて、

- 発達が全体的にゆっくりだと感じる。
- 対人面などで幼さや、純朴さを感じる。
- 相手が話していることの理解や、文字の読み書きが全般的に弱い(苦手)と感じる。
- 身体や手先を動かすことにとても不器用さがある。

- 相手の反応を気にせず一方的に関わろうとする。
- こだわりが強く、予定の変更を嫌がる。
- 落ち着きがなく、人の話をきちんと聞くことが難しい。活動中に席を立ってしまう。
- 好きな活動を切り上げにくい。
- ささいなことでカッとなり、衝動的な行動をしてしまう。
- 文字をスムーズに読むことや、整った字で書くことが難しい。

- 発音が気になる。(「さかな」→「たかな」など)
- 年齢のわりに知っている言葉が少ない。
- 話し始めの音を繰り返したり、伸ばしたり、話し始めがつかまって出てこなかったりする。
- 文字や文を読み間違えたり、書き誤ったりすることが多い。

- 聞き誤りや、聞き返しが多い。
- 呼んでも気が付かないことがある。
- 補聴器や人工内耳を装着している。

特別支援学級(知的障害)

子供が毎日通って学習する学級です。教材や教具などを工夫し、少人数(1学級8名)によるきめ細やかな指導を行います。

- 教科学習では、意欲的に取り組めるよう教材を工夫しています。また、実際の生活場面と学習内容を組み合わせて体験的に学ぶ学習活動を取り入れています。
- 挨拶や集団生活の決まりを守ることなど、日常生活や社会生活において必要な基本的な生活習慣を身に付けていきます。
- 通常の学級の児童生徒と一緒に行事に参加するとともに、他校の特別支援学級の児童生徒と合同行事を行い、交流を深めながら視野を広め、社会に出た時に必要な力を養っていきます。

*知的発達に遅れがあり、日常生活の活動に一部援助を必要とする児童生徒が対象です。

特別支援教室

学校内にある教室に通って指導を受けます。苦手、不得手なことによって、生活場面や学習場面のつまずきがある、学校生活にうまく参加できない子供に対して、一人一人の実態にあった学習の仕方や具体的な対応の仕方を身に付けられるよう指導を行います。

- 感情や行動をコントロールする力や、他者の考え・意図や気持ちを読み取るといった力など、指導内容や教材を工夫し、身に付けていきます。
- その場に合った行動がとれるようになるため、周囲の状況を把握する力、友達と関わる力、ルールを理解する力、気持ちの折り合いをつける力などをグループ活動を通して学びます。

*知的発達に遅れがない自閉スペクトラム症(ASD)、注意欠如多動症(ADHD)、学習障害(LD)、情緒障害に該当又は疑いのある児童生徒が対象です。
*区立小・中学校全校に設置しています。

通級指導学級(言語障害)

普段は在籍学級で学習しますが、決められた時間に通って指導を受ける学級です。話すことに関する困りごとや、その困りごとからくる学習上の問題を改善する指導を行います。

- 舌、唇などの動きを高める練習をして、正しい音で発音できるようにします。
- 話す楽しさや話すことへの自信をつけていきます。
- 吃音の知識を学んだり、苦手な語や場面での向き合い方を学んだりします。
- 言葉を増やし、思っていることを言葉で表現する力、音や言葉などを聞きとる力、正しい言葉や文で話す・読む・書く・考える力を身に付けていきます。

*個別指導が中心です。



*特別支援学級等の設置校は背面の「特別支援学級等所在地一覧」をご覧ください。

通級指導学級(難聴)

普段は在籍学級で学習しますが、決められた時間に通って指導を受ける学級です。聞こえにくさから生じる生活上・学習上の困りごとを改善する指導を行います。

(小学校)

- 補聴器や人工内耳を活用し、聞き取る力や聞き分ける力を高めます。
- 難聴についての自己理解を図り、聞こえにくさに対応する力を身に付けていきます。
- 同じ難聴のある児童が集まることで、コミュニケーション能力を伸ばし、学ぶ力を身に付けていきます。

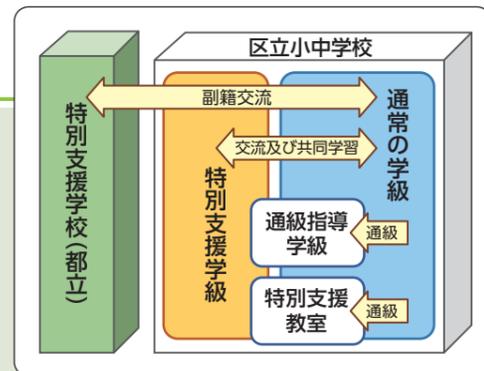
(中学校)

- 生活上又は学習上の困りを知り、個々の特性に応じた解決方法を身に付けます。
 - 同じ難聴のある生徒が集まることで、コミュニケーション能力を伸ばし、心理的安定を図ります。
- *個別指導が中心です。

*特別支援学級等の設置校は背面の「特別支援学級等所在地一覧」をご覧ください。

いろいろな学びの場があります

児童生徒一人一人の持っている力を伸ばすために、障害等の状態や発達状況に応じた学びの場があります。また、障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が触れ合い、共に活動する「副籍交流」や「交流及び共同学習」は、経験を深め、社会性を養い、お互いを尊重し合う大切さを学ぶ機会となっています。就学時に決定した学びの場は固定したものではなく、発達の程度や適応状況等から、学びの場の見直し(転学)をすることができます。



学校の支援体制

学校生活や学習で不安や気になることがあるときは、相談してみましょう。

